



令和5年度 大江小学校だより

大江丸

令和6年2月15日 発行



6年生製作「大江丸の大漁旗」

レッツ全力航海!

一月往ぬる二月逃げる三月去る。年が明けてまだ間もない気持ちでいましたが、あっという間に2月も半ばとなりました。登校日が50日余りあった3学期も、残り半分ほどになりました。時の流れのあまりの速さに、焦る気持ちが湧いてきてしまいます。6年生にとって、小学校で過ごす一日一日がとても貴重なものになっていることでしょう。

2月も、いろいろな体験活動、行事が組み込まれています。今年度のまとめに向かうだけでなく、これからの学びにつながる良い体験や学習を一つでも多く積み重ねていければと思っています。

参観日・ワークショップ

1月23日(火)、雪が舞うとても寒い中、参観授業とワークショップを開催しました。参観授業では、友達と相談したり保護者と一緒に活動したりする場面がいろいろな学年で見られ、温かな雰囲気での授業が繰り広げられていました。

ワークショップでは、昨年度に引き続き井原市教育委員会の藤井剛先生を講師にお招きし、井原志民力についてのアンケート結果やひとづくり事業、そしてコミュニティ・スクールについて説明していただきました。また、子供を育てることに対して、学校・地域・家庭の比率は今どれくらいか考えたり、ウェルビーイングの取組を少し話し合ったりしました。和やかな雰囲気の中で、地域の皆様や保護者の皆様と共に語り合えた貴重な時間となりました。参加してくださいました皆様、ありがとうございました。



歴史を学ぶ会

6年生対象の歴史を学ぶ会が、1月19日(金)と1月30日(火)の2日間にわたって行われました。19日は、教室で滝山合戦やその時代の武将たちの話など、とても興味深いお話をたくさん聞くことができました。

30日には、この話を受けて、合戦にまつわる史跡を見学しに行きました。滝山城跡は、とても見晴らしの良い場所にあり、この地を巡って戦国の武将が様々な策略を巡らせながら生きていたのだなと思うと、とても感慨深いものがありました。

大塚さんに大江町にまつわる歴史を教えていただいたことは、6年生にとって、自分のふるさとに誇りをもつことのできる一つとなっていくことでしょう。



幼稚園交流

1月31日(水)に、5年生は、大江幼稚園の子供たちを小学校に招いて交流会を開きました。5年生が幼稚園と交流会を開くのは、これが3回目となります。1回目は、プールで水遊びを一緒に楽しみ、2回目は、幼稚園の園庭でしっぽ取りゲームなどをして交流を深めました。

そして今回は、小学校の体育館での交流となりました。プログラムは、おはなしタイム、なかよしタイム、屋台遊びの3本立てで、5年生のアイデアが詰まった楽しい内容となりました。屋台遊びでは、やり方は簡単で、その上で楽しめるように工夫された的当てや宝釣り、くじ引きなどのたくさんのコーナーが用意され、園児たちは大いに楽しむことができたようです。

園児が楽しめるようにアイデアを出し合って準備を進め、優しさにあふれる笑顔で園児に接している5年生の姿に、大きな成長を感じました。



避難訓練



2月8日(木)、5年生と6年生を対象に、井原消防署の方を講師として、音楽室設置の避難袋を使って避難する訓練を行いました。

最初に、煙が充満した部屋を移動する体験をしました。周りが見えづらく、進む方向が分からなくなる危険性を知りました。その後、3階から避難袋を使って地面に降りていく体験をしました。初めて見るものであり、そして体験するものになるので、かなりドキドキしたようですが、全員、安全に避難をすることができました。

一度体験したものは、最初ほどドキドキしないもの。火災が起こった時に、自分の命を自分で守るために落ち着いて対応できる体験となったに違いありません。

長縄集会

2月9日(金)、運動委員会主催の長縄集会が開かれました。3分間の間に、連続8の字跳びをできるだけ多く跳ぶことに挑戦します。各学級で目標を決め、それに向かって休み時間や体育の時間にたくさん練習をしてきました。

本番では、今までの練習の成果を発揮し、目標回数を超えることのできた学年、少ない人数の中で必死に跳び続けた学年、温かな声を掛け合いながら頑張っていた学年など、それぞれに協力して頑張ることができました。

